

東京物語 (1953)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 136分
初公開日 1953/11/03
公開情報 松竹
映倫 G

【解説】

日本映画を代表する傑作の1本。巨匠・小津安二郎監督が、戦後変わりつつある家族の関係をテーマに人間の生と死までをも見つめた深淵なドラマ。故郷の尾道から20年ぶりに東京へ出てきた老夫婦。成人した子どもたちの家を訪ねるが、みなそれぞれの生活に精一杯だった。唯一、戦死した次男の未亡人だけが皮肉にも優しい心遣いを示すのだった……。いまでは失われつつある思いやりや慎ましさといった“日本のこころ”とでもいうべきものを原節子が体現している。家でひとり侘しくたたずむ笠智衆を捉えたショットは映画史上に残る名ラスト・シーンのひとつ。

【クレジット】

監督 小津安二郎
製作 山本武
脚本 野田高梧
小津安二郎
撮影 厚田雄春
美術 浜田辰雄
衣裳 斎藤耐二
編集 浜村義康
音楽 斎藤高順
出演 笠智衆 平山周吉
東山千栄子 妻・とみ
原節子 二男の嫁・紀子
杉村春子 長女・金子志げ
山村聡 So Yamamura 長男・平山幸一
三宅邦子 妻・文子
香川京子 二女・京子
東野英治郎 沼田三平
中村伸郎 志げの夫・金子庫造
大坂志郎 三男・平山敬三
十朱久雄 服部修
長岡輝子 妻・よね
桜むつ子 おでん屋の女
高橋豊子 隣家の細君
安部徹 鉄道職員

三谷幸子	アパートの女
村瀬禪	平山実
毛利充宏	平山勇
阿南純子	美容院の助手
水木涼子	美容院の客
戸川美子	美容院の客
糸川和広	下宿の青年
遠山文雄	患者の男
諸角啓二郎	巡査
新島勉	会社の課長
鈴木彰三	事務員
田代芳子	旅館の女中
秩父晴子	旅館の女中
三木隆	艶歌師
長尾敏之助	尾道の医師